

青く美しい地球のために



大佐貫 篠木芳子さん

毎年増え続けるごみの処分には、自治体も苦慮していると思います。

私たちの暮らしの中から出る家庭ごみは、全国で年間5100万トン。商店、会社から出る事業系ごみは、何と4億500万トンとされています。

とにかく世の中のごみが多過ぎます。

自分の家から毎月の様に出るごみの代表的な物でも数えたらきりがありません。

まず、自分の身の回りから、ごみと資源ごみから分けることから始め、自己努力で素材別に分別し、町で実施している危険物収集、粗大ごみ収集に合わせて、出来る限り処理しましょう。

プラスチック類を燃やすと、ダイオキシンを始め、さまざまな有害物質を発生させるとして問題になっていますが、塩ビが含まれている、身近なプラスチック製品でも食品トレイ・薬の包み・卵のパック等は、資源ごみとして分ける事を家族全員で習慣にしたいものです。

家庭ごみの半分を占めるのは、生ごみとされています。出来る限り水分を少なくし、体積と重量を半減させるように努め、土に還元できる物は堆肥にして活用し、それで育った野菜を食べるこにより、食の循環が味わえます。

また、ごみの出口だけでなく、入口となる大量生産、大量消費、大量破棄の社会構造も改める必要があり、私たち一人ひとりが自覚を持って、ごみのダイエットに取り組み、この青い美しい地球をごみ惑星にしないように、頑張りたいと思います。

まずは、一人1日100g減らす工夫をしましょう。

一人1日100g減らすことで年間36トンの削減ができ、町全体では約12万8000トンの削減となります。

例えば、割り箸と使い捨てのコップとお皿が4人分、広告の紙約8枚などが100gに相当します。

使い捨て商品を使わないようにしたり、リサイクルできるものは資源ごみとして出したりするなどを行えば、100gのごみを減らすことも難しいことではありません。

チャレンジ!!
100gのごみの減量

ガラスびん (140ml)	1本
チラシ	8枚分
ノート	1冊
新聞紙	5枚分
食品トレイ	15~20枚
牛乳パック1ℓと500mlパック	2個ずつ
バナナの皮	2枚
手ぬぐいとタオル	1枚ずつ

100gの削減は、こんな感じです。

ちょっとした工夫の組み合わせ 100g

★買い物時にマイバッグを使い過剰包装を断ると…

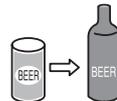


レジ袋1枚→5~10g 減量



紙製手さげ袋1枚→50g減量

★使い捨て商品ではなく、繰り返し使えるものや詰め替え商品を選ぶと…



缶ビールをびんビールにする、びんはお店に返す→20g減量



洗剤容器などは詰め替え商品を利用する→60g減量

★買いすぎ、作り過ぎをしないように心掛けると…



ごはん1膳→140g減量



きゅうり1本→90g減量



納豆1パック→45g減量

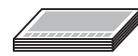
★リサイクル可能なものはごみとして出さずに資源回収に出すと…



新聞1日分
→140g減量



Tシャツ1枚
→140g減量



雑誌1冊
→300g減量



牛乳パック1ℓ
→25g減量

100gというのは大量な量ではありません。ちょっとした心がけで100gは簡単に減らせます。※ここまで紹介した重量はあくまで目安です。大きさ・素材で異なる場合があります。